

# データ取得の現状と リアルタイムWEBのデモ

1515050 電子情報工学科 山本聖也

# 1. はじめに

人の作業は環境や体調によってパフォーマンスが異なる



本研究の目標

生体情報と環境情報の関係性と最も人が作業するにおいて  
効率の良い環境を求める

## 2. 実験概要

英単語の学習  
(TOEIC900点レベル)



データセンシング

PC

データ保存, リアルタイム  
可視化

環境情報を制御  
快適な環境を作る!

環境, 生体データ受け取り,  
解析

# 問題点

- 研究のゴールがまだ具体的には決まっていない
- どういった手法, 理論を使うのか?
- 実験環境の開発がまだまだできていない

### 3. データ取得の問題点

- 以前デモを見せた際は一回のデータ取得に16秒程かかってしまっていた
- 時々エラーが発生してデータの取得が止まってしまう

```
open ← 8秒程かかる  
<4.41>  
<4.41>  
*OPEN*HTTP/1.1 200 OK  
Date: Wed, 30 May 2018 02:12:28 GMT  
Server: Apache/2.4.33 (Win32) OpenSSL/  
Content-Length: 0  
Connection: close  
Content-Type: text/html; charset=UTF-8
```

# 解決方法

- データの送信が長い

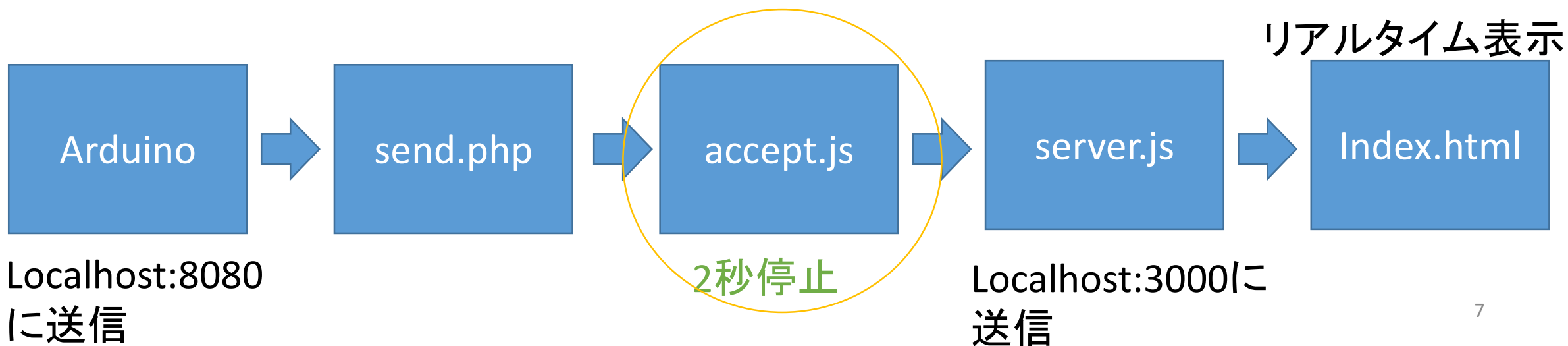
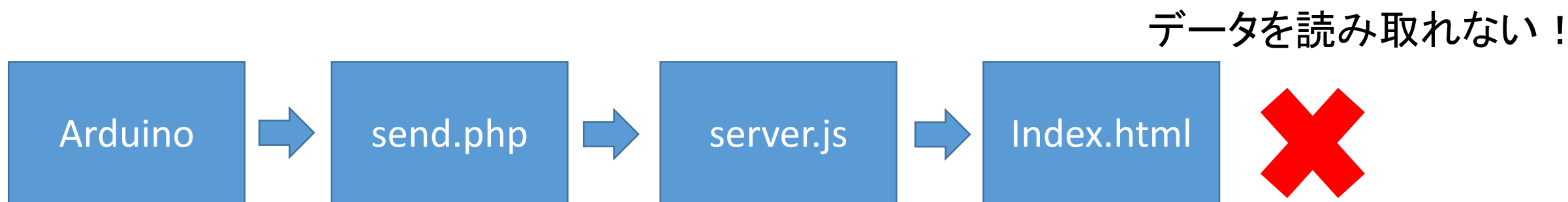
1. 10秒分データを蓄積してから送信（データ毎に10秒間隔が空くので × ）
2. コマンドを使わずに実行する方法を探す
3. 別のwifiモジュールを購入し試す

- データ取得が止まる

e-healthのLEDの点滅が停止状態になったらRESETボタンを押す  
何故データ取得が止まるのかはよくわかっていない

## 4. リアルタイムWEB

- データフロー



# デモ



## 5. 今後の展開

- まだ折れ線グラフでのリアルタイム表示には至っていない  
(ライブラリを入れるだけの単純作業じゃなかった)
- 理論の勉強
- Raspberrypiで環境データ取得